

2015年11月8日 掲載 山形新聞

第一貨物など「創生の森」5周年 記念植樹、成長を祈願

物流大手・第一貨物（山形市）と太平興業（東京）の共同持ち株会社「ディー・ティー・ホールディングス」、関連会社の山形三菱自動車販売（山形市）は7日、山辺町畑谷の「創生の森」で植林5周年イベントを開催し、記念植樹や下草刈りを行った＝写真。

第一貨物などは2010年、環境活動の一環として広さ約1.3畝の国有地を借り、ブナの苗木約3000本を植林。「創生の森」と名付けて管理している。

この日は約60人が参加。武藤幸規第一貨物社長はあいさつで「われわれの事業は地球環境に深く関わっている。



エコカーや、廃油を活用した燃料の利用も行っており、今後も地球を守る活動を続けたい」と語った。

引き続きオオヤマザクラの苗木を記念植樹し、ブナ林の健やかな成長を祈願。近くの遊歩道に木製チップを敷き詰めたほか、下草刈りや施肥作業を行った。